

この領域を訪問するたびに、拠点を、どこにするか。

ある時期、取材や画像記録だけが、目的でなかったのが、拠点はいろいろ。

長期のレンタカーの契約。宿泊させていただいた場所は、ボストンと**ケープゴッド**の間。

道中、いろいろなお店がある。時に、朝食タイムは、日々、今日の作戦を考える時間。

話が、あちこち脱線。ボストン市内の拠点では、地下鉄を利用。

ある作品展示の場所は、地下鉄・グリーンラインの終点にある学校の会場。

ワークショップ（実演）や、話の機会も求められたが、準備もしていなかった上に、

専門用語など、言葉が話せないのが、第三者が、説明された。

渡航前も多忙。**ボストン、鎌倉、京都、3カ所同時期個展**、受付は、人材派遣会社から・・・

助手を持てる状況でなかった。和紙夢絵と写真作品、**62作品**持参して、

ボストン、現地で額装。学芸員が二人サポート。いろいろ大変だったが、楽しかった。



教室、演壇から

壁面は、久楽の作品展示。6会場に、いろいろ工夫して、展示されていた。

長期の展示で、下記、説明の冊子も、作成されていた。

～～山はみどり 野に花 人にはこころ～～

下記は、久楽の写真集の展示の一つ。レセプションは、羽織袴^{ほかま}で、
ポストン Y 総領事も、出席していただいた。勿論、副学長のご尽力のおかげ。
いろいろなことがあったが、今は、いい思い出、心の財産。



*展示写真については、心模様 5809 に



単独での活動の限界、痛感。

心模様 4396 と、画像が重複しますが、



展示会場、入口にて。 右上も、久楽の作品

アメリカでの展示と日本での展示の違い。

また、コストの問題で、思うようには表現できなかった。

待ったなし。言い訳なし。後悔なし。3秒、30秒、3分という言葉もある。

第一ボタン、第一歩が大切。失敗から学ぶことが多かった。

英語も、もっと、勉強しておけばよかった。特に、会話。

学生時代、外国人と、話す機会が少なかった。ヒアリングも、中途半端。

歳をとると、単語が出てこない。何事もタイミング。「鉄は、熱いうちに鍛えること」

反省することが、多すぎる。下記も、キューバ問題、米国、国連大使役で、

冒頭に発言中の写真が、英字新聞に掲載された。

晩年、3回にわけて、ママチャリ、日本縦断を完走できた。事情が許せば、別目標もある。

大切なのは、過去ではない。今からが大切。心身健康という目標は、

個人差があるが、老病生死、前向きに挑戦したい。

悲観的に考えないで、しかし、無理は禁物。日々、前向きに。これは、自分への鼓舞。



掛け軸や風呂先屏風



強がりだが、人生、まだまだ